

医療・福祉に関わる課題解決力の向上と 企業価値の最大化をめざして、 5つの取り組みを強化しています。

企業価値と社会価値の両立を目指して

日清医療食品は、CSR活動を、法令遵守や人権保全といった企業の社会的責任を果たす取り組みとしてだけでなく、医療・社会福祉施設に特化したヘルスケアフードサービスのリーディングカンパニーとして、社会課題に対応しながら、企業体質の強化や成長機会にしていくことと位置づけています。そして、企業価値を高めながら社会価値も同時に高めていくことを目指しています。

「5つの重点テーマ」を特定

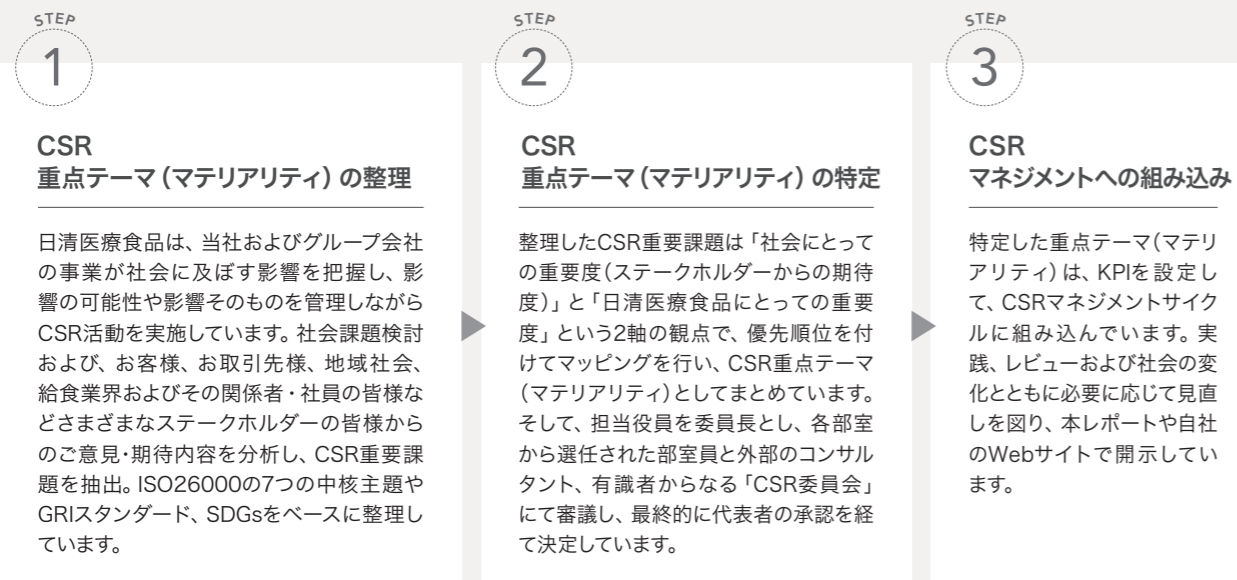
企業価値の向上=社会価値の向上という考え方にに基づき、日清医療食品は、食に携わる企業として多様なステークホルダーの皆様と価値を分かち合えるよう、5つの重点テーマ(マテリアリティ)を特定しています。また、取り組みにあたっては、国際規格であるGRIスタンダード・ISO26000を参考にしています。

国連SDGsを視野に

2015年、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、2030年までに17項の目標の達成に向けて、国や自治体、NPO/NGOだけでなく、産官学のあらゆる組織、団体がステークホルダーとともに連携して取り組みを進めることが重視されています。こうした国際社会の要請を踏まえ、日清医療食品では国際社会のサステナビリティに資する取り組みを強化しています。



重点テーマの特定プロセス



5つの重点テーマ(マテリアリティ)

テーマ 1 つくる責任 つかう責任

「安全・安心な食」をお届けするために

仕入れ商品の安全・安心
現代社会では「食の安全・安心」を脅かす事故が相次ぐなか、食品に対する人々の意識は高まる一方です。日清医療食品は、食のなかでも最も安全・安心が求められる医療・福祉向けの食事を提供する企業として、食材の仕入れ段階から厳しいチェックの仕組みを構築しています。

厨房での安全・安心
食材の品質管理体制をどんなに整備しても、実際に調理を担うご契約先事業所での衛生管理が確実に実行されなければ、食の安全・安心への責任は果たせません。そこで日清医療食品は、ご契約先事業所の衛生管理活動を全社でサポートする体制を確立しています。

テーマ 2 3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを

三度の食事を365日、欠かすことなくお届けするために

日清医療食品では、事業継続のための施策を強化し続けています。どのような非常事態に陥ってもお客様の命をつなぐ「食事」をお届けするために、災害の教訓を活かした災害対策マニュアルを定めるとともに、災害訓練を実施しています。

テーマ 3 3 すべての人に健康と福祉を

健康維持・QOL向上を「食のよろこび」とともに

日清医療食品が食事サービスを提供する医療・福祉・保育施設では、施設を利用される一人ひとりの体調や健康を考えた専門的なメニューが求められます。また同時に、食事本来のおいしさや豊かさもおろそかにすることはできません。日清医療食品は、健康維持やQOLを向上させる「一人ひとりにふさわしい食事」を目指しています。

テーマ 4 3 すべての人に健康と福祉を 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを

より多くの人々の「健康な食生活」を実現するために

超高齢社会を背景に在宅療養や予防医療へのニーズが高まる一方で、国の「病院・施設から在宅へ」という政策のもと、自宅で療養する人々が増加しています。また、ライフスタイルの多様化や女性の社会進出により、ご家庭での調理時間の短縮化ニーズが高まっています。多様化するニーズにこたえ、医療・社会福祉施設で培ったノウハウを活かした食事を自宅までお届けする新規事業「食宅便」を2012年に開始しました。現在では、健康を気づかう方に対してケアシリーズの販売を行うとともに、地域との連携を行うことで高齢者サポートに貢献しています。

テーマ 5 8 豊かになりつつある社会を築こう 11 住み続けられるまちづくりを

プロフェッショナル人材を育成するために

医療・社会福祉関連施設における食事サービスには、おいしい食事を提供するという役割のみならず、食事を召し上がる皆様一人ひとりの「健康」や「人生」を支えるという役割も含まれています。こうした考えのもと、日清医療食品は栄養士や調理師の育成にあたり、高度な専門知識・スキルと、高い使命感・倫理観を兼ね備えた、プロフェッショナルとして自立できる人材づくりを重視しています。また育成した人材がその能力を存分に発揮できるよう、「世界人権宣言」等の国際規範を参考に人権啓発に努め、差別のない職場づくりを推進しています。